

〈 調査対象断層 〉

今回調査

対象：県内7つの断層

（市域の被害が大きな断層）

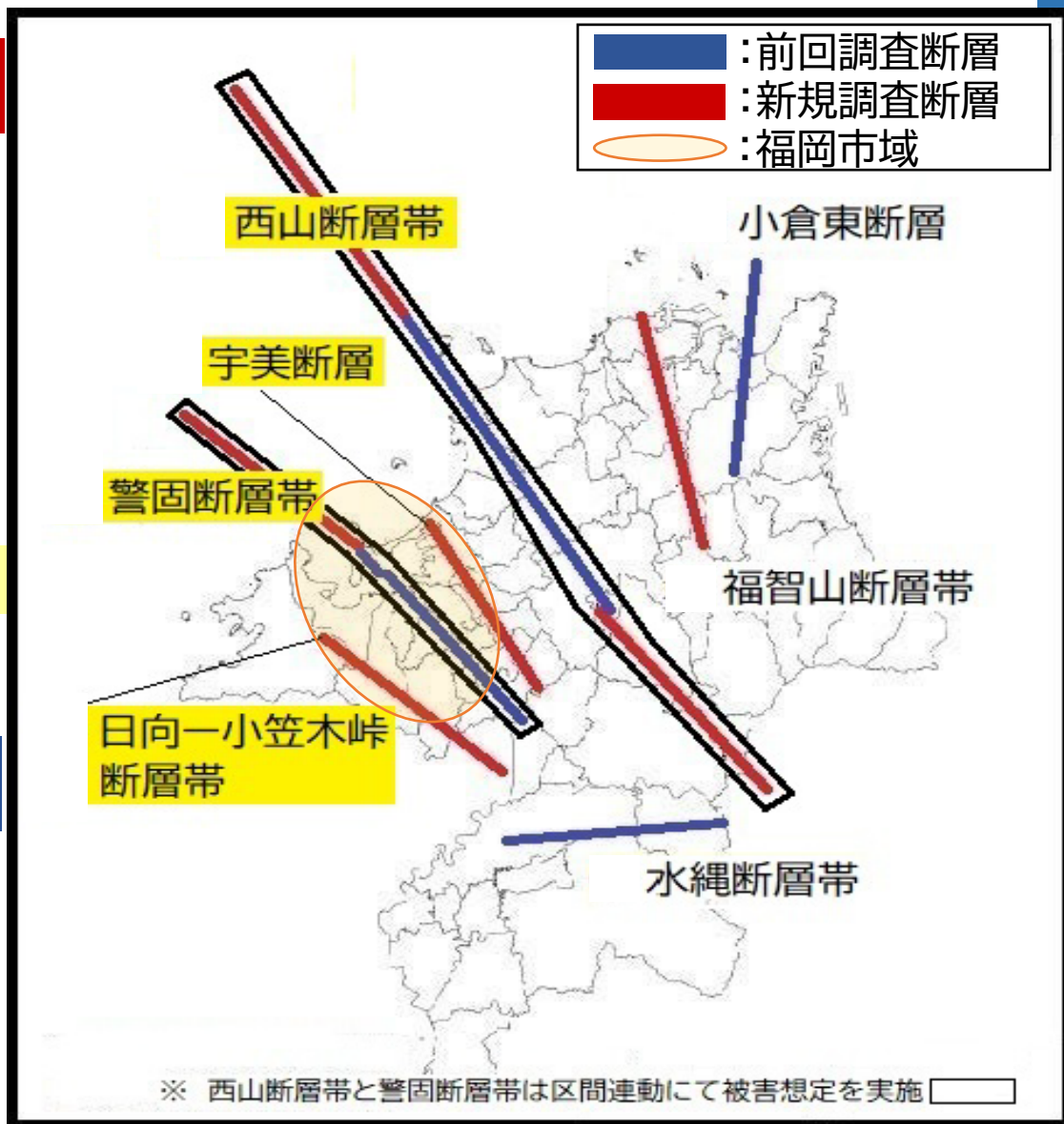
- 警固断層帯
- 宇美断層
- 西山断層帯
- 日向峠-小笠木峠断層帯

前回調査

対象：県内4つの断層

（市域の被害が大きな断層）

- 警固断層帯



福岡県による防災アセスメント調査について（概要）

〈 最大震度・被害想定比較 〉

- **最大震度**が6強から4つの断層で7
- 最大で**建物被害は約3倍**、**死者数は約2倍**、**避難者数は約9倍**
- 避難者数は、**在宅・車中泊などの避難所外の避難者も算定**
(避難所内：避難所外 = 6 : 4)

今回調査

前回調査

想定地震 (断層)	発生 確率	最大 震度	全壊 全焼	半壊	死者	避難者	最大 震度	全壊 全焼	半壊	死者	避難者
警固 断層帯	0.3-6 %	7	14,000 棟	27,000 棟	900 人	201,000 人	6強	4,500 棟	3,500 棟	500 人	25,000 人
宇美 断層	ほぼ 0 %	7	15,000 棟	26,000 棟	900 人	232,000 人	6強	— 棟	— 棟	— 人	— 人
西山 断層帯	不明 %	7	6,900 棟	19,000 棟	300 人	120,000 人	6強	800 棟	1,500 棟	100 人	4,300 人
日向峠- 小笠木峠 断層帯	不明 %	7	8,600 棟	19,000 棟	600 人	131,000 人	—	— 棟	— 棟	— 人	— 人

※上記死者に災害関連死は含まない（災害関連死者数：最大600人(宇美断層)）

福岡県による防災アセスメント調査について（概要）

〈被害拡大の主な要因〉

最大震度の増（6強→7）及び
震度6弱以上のエリアの拡大

建物被害の 拡大

- 揺れ、液状化による建物倒壊
- ブロック塀、自動販売機等の転倒
- 火災による建物焼失

ライフライン等の 被害拡大

- 電柱被害による停電
- 上下水道の管路被害に伴う断水
- 通信基地局被害に伴う通信障害
- ガスの供給停止
- 道路、鉄道被害による交通障害
- 港湾、漁港、空港の被害
- 防災拠点（病院、庁舎など）の機能不全

被災者の増

- 死傷者
- 避難所への避難者
- 避難所外（在宅・車中泊など）避難者
- 帰宅困難者
- 災害関連死

ハード・ソフト両面からの予防・応急対策の充実・強化が必要